

8月は「道路ふれあい月間」です

◆照会先 建設総務課 ☎23-7279 土木課 ☎23-7790

「一本の道に日本の底力」(平成24年度「道路ふれあい月間」推進標語一般の部最優秀作品)

国では、市民の皆さんに改めて、道路の役割や重要性を再確認していただくため、毎年8月1日～31日の1カ月間を「道路ふれあい月間」としています。

また、大正9年8月10日にわが国最初の道路整備計画が実施されたことから、8月10日を「道の日」と制定しています。

これを機に、いま一度わたしたちの身近な道路を見つめ直し、安全で快適に利用できるためにも、皆さんの協力で、よりよい道路にしていきましょう。

市内の道路状況と対策

関市は市街地を中心に放射状に幹線道路があることから、市街地中心部が目的地ではなく、単に通過していく「通過交通」による交通渋滞が発生したり、分かりにくい道路体系になっています。このため市では、環状道路やまちの骨格をなす都市計画道路の整備を行っており、整備にあたっては、地域の美しさや自然環境、さらに歩行者を優先する、人と環境にやさしい道づくりに努めています。

具体的に現在、都市計画道路として東本郷鑄物師屋線、東山西田原線、西本郷一ツ山線の改良工事を進めており、これらの事業が完成すると、市街地内道路の連絡がスムーズになります。

事業の詳細については、次のとおりです。

◎東本郷鑄物師屋線道路改良工事

笠屋土地区画整理事業区域内を通り、東新町地内の国道418号までの延長約700mを整備します(図①)。

◎東山西田原線道路改良工事

国道418号肥田瀬信号交差点から長良川鉄道を渡り、旧国道248号までの全長約700mを整備します(図②)。

この2路線は市街地東部の南北交通を円滑にするもので、今年度から工事に着手します。

◎西本郷一ツ山線道路改良工事

西本郷通りから国道248号までの延長約1,300mで、中心市街地のまちづくりを代表する骨格軸として位置づけている道路です(図③)。

平成23年度までに安桜小学校西までの整備が完了しており、引き続き長良川鉄道上に踏切を新設し、国道248号まで接続できるよう早期の工事着手を目指しています。

また、県が施工している国道248号関バイパス(小迫間～倉知赤尾)(図④)と同国道の現道(小屋名～大久後)(図⑤)は、完成に向けて工事が進んでいます。

情報提供と協力をお願いします

市では全延長1,120kmの市道を管理しています。

道路の安全確保・景観美化のため、市では道路パトロールを実施していますが、市内全域をくまなくチェックすることは大変困難です。

「道路に穴があいている」「道路に木が倒れている」「照明灯の球が切れている」など、お気づきの点がありましたら土木課までお知らせください。

また、自宅の前や身近な道路の清掃、除草など、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

手続き忘れはありませんか

道路は、本来、通行のために使用するものですが、実際には通行以外にも使用されています。

道路脇に電柱、上空には電線、地下に水道管や排水管など、道路本来の機能に影響しない範囲で設置許可をしています。

道路にはみ出して工事の足場を設置したり、看板や日よけなどを取り付けたりする場合には占用の許可が必要ですので、手続きをお願いします。

設置をするにあたって占用料金がかかります。

なお、物件によって、大きさ、出幅、構造、設置場所などの基準が異なり、許可できないものもありますので、詳しくは建設総務課までお問い合わせください。

